
財布

ファイアドレイク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

財布

【Nコード】

N3110Q

【作者名】

ファイアドレイク

【あらすじ】

田舎で散歩していた男は、異質な存在感を持つ財布に出会う。

財布が落ちていた。アスファルトの上で異質な存在感を放つそれは、ただこの私のためにあった。つまり、周りに誰もいない。都会人には意外かも知れないが、このような田舎は朝夕の方が人が多い。昼間は人つ子一人いないのだ。

なぜか。ここにはお年寄りばかりだから。お年寄りは朝早く起きて散歩し、昼の暑さを避け、涼しくなってきた夕方にまた外へ出るからである。

そういうことだから、あの茶色い財布を拾えるのはこの私だけなのだ。少なくとも今の所は。

1分ほどの思考の結果、私は誘惑に負けた。誘惑が私に勝ったとも言える。むしろそういうことにする。財布ごときに負けたのではない。あくまでも財布が勝利したのだ。

ということ、財布を拾った。どうしても中身に期待してしまう。お札を数える。硬貨など数える程の価値すらない。1万円冊のみが全てである。

1枚……5枚……10枚……20枚！なんと、福沢様が20人もいらっしやる！つまりは20万円！

ぬかりなく左右を見て、誰もいないことを、誰かが見ていないことを確認して、それをカバンにしまい込んだ。これで20万円は私のものだ。

いつもより少しばかり贅沢なお菓子を食べ、上機嫌で家に帰る。妻が私を出迎える。

「ただいま」とだけ言い、自室へ行く。妻は正義感が強く、財布を拾えば交番に届けるタイプだ。更に美人と来たものだから、競争率は高かった。私が彼女と結婚出来たことは、今考えれば非常に驚くべきことである。

1時間ほど仕事をして、妻が作った夕食をいただくことにした。

妻は料理も一級品だ。そんじょそこらのコックより上手いだろう。食卓で、妻が溜め息をついた。何か嫌なことでもあったのだろうか。

「財布を落としたのよ」

いくら何でも唐突過ぎるだろう。いきなり、財布を落としたなんて言われても、リアクションに困ってしまう。

茶色の財布なんだけど、と妻に言われて、私は血の気が引いた。20万円も入っていたのに、と言われ、更に血の気が引いた。

妻は本当に申し訳なさそうにしている。私が稼いだ金なのだから本来はそうなのだが、それを私が拾っているなんて妻には知るよしもない。どうするべきか。かなりのピンチである。

まさか拾った、と正直に言うわけにはいかない。この20万円は自分が稼いだとはいえ夫婦二人の金だから、自分だけで使い込むわけにもいくまい。なんとかして、感づかれずに財布を妻に返さなければならぬ。しかも中途半端に中身が減っているのはおかしいから、豪華なデザートで使った5000円も私の小遣いから補填しなければ。踏んだり蹴ったりだが、財布の金を使い込んだのは自分であるから、致し方ない。

いや、そんなことはどうでもいい。最大の問題は、妻に20万円と財布を返す方法だ。それ以外のことはあくまでも枝葉末節。しかしその最大の問題に解決策があるだろうか……ある。一つだけ、一か八かだが、致し方あるまい。

なあ、と妻に話しかける。妻は驚いたように身を震わす。僕が君に怒るはずがないのに。むしろその逆なのに。

「その財布、俺が拾ったんだ」

唯一無二の方法。それは、正直であること。そうすれば妻はきつとー

「落ちている財布を拾うなんて……あなた……」

許してもらえと思った俺が愚かだった。妻は正義感が著しく強いのだから……

だが、その後の説教に、少しの安堵感が含まれていたと思ったのは、間違いではなかったのだろう。

(後書き)

この小説はどうでしたか？

お読み下さり、ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3110q/>

財布

2011年1月26日01時30分発行